

★「スタンダードシート」を活用した授業(例)★

外国語科(英語)学習指導案

- 1 対象 第2学年1組(男子 10 名、女子 10 名、合計 20 人)
 2 日時 平成 22 年 11 月 19 日(金) 第6校時 14:55~15:45
 3 場所 第2学年1組教室
 4 単元 Unit 5 A Park or a Parking Area? [New Horizon English Course 2]
 5 本時の目標
 本文の内容を理解し、様々な設問に英語で答えることができる。 (理解の能力)
 6 本時の展開(4/10)

過程	指導内容	指導形態	主な学習活動	指導上の留意点 (個に応じる手立て)	教材・教具等	評価 (評価観点) (評価方法)
家庭学習	○ 宿題を提示し、家庭学習をさせる。	個別	・ 辞書ワークシートで本文の内容を理解する。 ・ 本文レベル別ワークシートで本文の暗記をする。	・ 本文の単語を抜いた本文ワークシートをレベル別に4段階準備し、自分の計画と目標に基づいて学習させる。	辞書ワークシート 本文レベル別ワークシート	ポイント①
導入 4分	○ まとまった英文をメモを取りながら聞かせる。	一斉	・ リスニング問題を解く。	・ チャイムとともに始められるよう配布しておく。 ・ 聞き取れた英文の内容をできるだけメモさせる。	聞きトレ64(浜島書店)	
展開① 5分	○ 宿題としている本文の暗記の理解度を確認させる。	ペア 個別	・ 教科書の該当ページ(P.51)の音読練習をする。 ・ 今日挑戦するレベルのテスト用紙を取りに行き合図を待って始める。	・ CD のレポートやオーバーラッピングをさせたり、ペアや個人で読ませたりする。 ・ 2分程度経過したところで本文の CD を流し、出来ていないところを埋めさせる。	本文レベル別ワークシート レベル別テスト CD	
展開② 17分	○ 本文の内容を様々な設問形式で尋ね、理解度を確認させる。 ポイント② ○ 答えを発表させ確認させる。	個別 一斉	・ True or False と Questions & Answers のワークシートをする。 ・ False の場合は間違っている英語の部分に下線を引く。 ・ 答えを発表する。 ・ 裏面に印刷してあるワークシートで、もう一度間違った問題を解く。	・ 適語補充レベルと完全解答レベルの2種類のシートを準備し、生徒が取り組みやすい方から解かせる。 ・ 生徒からの質問には、即答をせず、辞書を使わせたり、今までの学習プリントで調べさせたりするなど、自力解決を促す助言を行う。	ワークシート 辞書	・ 本文の内容を理解し、True or False や Questions and Answers の設問に答えることができる。(理解の能力) 〈ワークシートの点検、後日の定期テスト〉
展開③ 13分	○ P.52 本文の内容を理解させる。	一斉 ペア	・ 本文の概要をつかみ、日本語の問いに日本語か英語で答える。 ・ 語句の確認をする。 ・ 本文を日本語にする。	・ CD を聞いて本文の概要をつかませる。 ・ 日英交互にペアで言わせ、語句を覚えさせる。 ・ 本文を意味のまとまりや文の構造に着目して縦に区切り、語順を意識して日本語に直させる。	CD 本文縦割りワークシート	ポイント③
まとめ 11分	○ スタンダードシート「夢を発表しよう」第5回に取り組みさせる。	個別 グループ	・ 自分の夢についての英文を作る。 ・ メモを取りながらお互いに聞き合う。 ・ 2人にスピーチする。	・ 第1回~4回までの内容を振り返り、そこに使われている表現を参考にして、夢について書かせる。	スタンダードシート 専用ファイル	ポイント④

ポイント①
生徒に選択させる

生徒自身が自分の学習を計画的に進めていくという、見通しのある学習が大切です。また、どこまで頑張ればよいか目標を明確にすることも重要です。

ポイント②
根拠を示させる

根拠を明らかにして答えたり、辞書等を用いて自分で調べたりする習慣を付けさせることが大切です。

ポイント③
語順に着目させる

日本語と英語の違いに気付かせながら、英語の語順を習得させるように指導します。中高連携の視点からも重要です。

ポイント④
「スタンダードシート」を活用する

授業のまとめで、「スタンダードシート」を活用しています。配布→机間指導→時間計測→答え合わせ→ペア活動の支援→振り返りと進めます。